

基本と実践を俯瞰
+αの情報提供

主催：東京大学／山形県環境保全協議会

<環境情報セミナー・開催ご案内>

こんなにあるのか！
省エネの「余地」

インバータによるポンプの省エネ： 「県内発」最新事情

色々ある？
省エネ制御方法

技術リスクは
見える化可能？

日時 平成30年 **12月6日(木)** 13:30~14:50

参加費
無料

会場 **山形県産業創造支援センター** (多目的ホール)

〒990-2473 山形市松栄1-3-8 ※JR山形駅、東北中央道山形中央ICより約4km。無料駐車場有。

概要

[事例]「インバータによるポンプの省エネ」実験風景↓

- ①緒言：今？だからこそ！敢えて「インバータでポンプの省エネ」を狙う
- ②本論：ポンプの省エネとインバータの利活用
 - ・ポンプの省エネ：原理原則＋省エネポテンシャルの簡単な測定法
 - ・インバータの機能と最近の技術革新
 - ・実現可能なINV制御概説
 - ・大成功＆失敗しかけたインバータによるポンプの省エネ事例(県内版)紹介
- ③結言：インバータで目指す「省エネ効果の”最大化”」・特別なお知らせ



※映像資料で実例を
詳細に公開予定。

詳細ご案内

国内に3,000万台以上あるとも推計されるポンプと、その省エネを実現する「インバータ」。実はこの組合せで実装されているポンプは全体の20%程度と謂われています。**「3乗に効く」省エネ効果が得られるとされ、実際に県内でも高い経済性をもたらすフィールド実験結果[※]がある一方、割合だけをみれば、まだまだ普及率は低い状態**といえます。 ※2017年中に東京大学により実施。

LED照明の採用等と比べ、「ポンプのインバータ化」による省エネ推進に技術的なハードルが高いとの印象が一部にあるようです。確かに**配管や圧力計等の状態を目視しただけで省エネの実施可否を判断するには情報不足かも知れません**。他、電気及び管工事の内容や期間、ポンプの付帯設備等の活用余地、トラブル対策、インバータの運用手法など、設備の安定稼働を前提に、効率的なポンプのインバータ運転を実現するには、少しでも多くの情報が必要かも知れません。

そこで今般、**山形県環境保全協議会は、東京大学との共催で、当該分野の省エネ技術、フィールド実験で得られた成功事例ならびに技術リスク等に関する情報提供を実施**致します(講師は前出した東京大学のフィールド実験従事者が担当)。なお本講座は学術研究を目的としていることから、当然に中立的な内容としております。



<講師>
東京大学大学院
新領域創成科学研究科
環境システム学専攻
博士後期課程
鈴木 伸隆 氏

TEL：023-679-3340 (特定非営利活動法人環境ネットやまがた内)

参加申込書

申込先：山形県環境保全協議会 FAX:023-679-3389

会社(法人)名			所属部署	
参加代表者氏名	(御役職：)		参加者氏名	
住所	〒	山形県		
電話番号			FAX番号	
E-mailアドレス				

【注意事項】～本セミナーのご参加に当たりましては、原則として、前日までに事前申込をお願い致します～
 当お申込みによるご提供頂いた個人情報ならびに講座終了後のアンケート調査によって得られた情報は、東京大学における研究倫理基準に基づき、氏名など個人情報が特定できないように匿名化した上で、研究に利用させていただきます。
 (本セミナーは東京大学倫理審査専門委員会の承認を受けた研究の一環として実施致します。)

ご参加お待ちしております